

教育委員会健康教育課と懇談

健康教育課の担当係長と栄養士の2名、よくする会12名で懇談。ハマ弁の現状、今後の動向について話を聞きました。

教育長の市会での答弁
ハマ弁は32年まで
33年以降はデリバリー型の
給食も検討



市 19年度喫食率15%めざします
しかし 19年2月は2.8%

市 当日注文の全校展開をします
しかし 売り切り制にし、足りないときは近くのコンビニで

市 ハマ弁を頼んだ子が嫌な思いをしないよう取り組んでいく

市 平成31年度事業計画書より

ハマ弁にかかわる総予算 9億8676万8千円
(昼食の用意が困難な生徒への支援 1億4918万5千円含)
(2016年~2022年度で 53億4027万7千円)

市 レンジ・保温シート方式断念
昼食時間、3区の市立中学校で15~20分に延長を検討



ハマ弁にお金を使うなら、中学校給食を!

「子どもは朝練で朝6時半に家をでるのでお弁当が腐っているのではと心配。給食にしてほしい。家庭に差がある。弁当だと補助出ない。不公平。親の負担が大きい。パン1斤持ってくる子もいる。ハマ弁たのんでるんだって!といわれる。家庭が貧しいというレッテルはられる。ハマ弁はまずい。」という声を聞いてきた。「このことを是非伝えて」と言われた。
大阪宝塚市の給食で子どもたちが育っている。私の友達は給食のある大和市に転校していった。

(戸塚区 Sさん)

どういうふうに進めていくかをベースに、子どもたちをどう育てていくかの視点で考えてほしい
(旭区 Sさん)

食に関する病気が広がっている中で、子どもたちの健康がむしばまれている。今、食教育を徹底しないと。全員喫食の給食で初めて「食教育」できるのではないかと
(磯子区 Uさん)

集団生活なので同じものを食べる方がいいと思う。給食がないので、公立中学の魅力がない
(戸塚区 Hさん)